

讀賣新聞

2017年(平成29年)

10月26日 木曜日

「乳がん検診 繼続して」

橋本闘病中の麻木さん講演

乳がんで闘病中のタレン

びかけた。

ト麻木久仁子さんらが講師を務める市民公開講座「いのち 今を生きることとは」が、橋本市産業文化会館（高野口町）で開かれ、患者ら約300人が講演などに聴き入った。

医療法人南労会・紀和病院の乳がん専門診療科「紀和ブレスト（乳腺）センター」や伊都医師会などが企画した。

講座では、患者の支援活動に取り組む一般社団法人「CSRプロジェクト」代表理事の桜井なおみさんが講演。「後悔しないように、自分らしく生きよう」と呼

びかけた。

2010年に脳梗塞、12年に乳がんを発症した麻木さんも講演し、人間ドックで乳がんが見つかった経緯に触れながら、「検診を継続して受けてほしい。がんと共生し、治療を受けながら生きるという日常をつくろう」と強調。また、麻木さんや桜井さん、梅村定司・同センター長らが討論を行った。

夕方には、麻木さんらが世界遺産・慈尊院（九度山町）で、多宝塔を乳がん撲滅のシンボルカラーのピンク色にライトアップした。



患者らと一緒にライトアップに臨んだ麻木さん
(中央、九度山町で)